



輝け！北っ子！

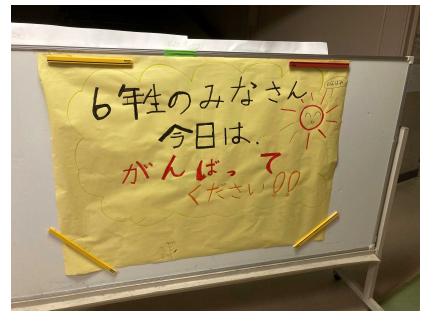
二本松市小学校陸上交流大会 ～投げて 跳んで 走って～

17日、カントリーパークとうわにおいて「二本松市小学校陸上交流大会」が開かれました。新型コロナウイルス感染症の拡大で2年ぶりの開催となりました。素晴らしい秋晴れのもと、市内16校の6年生約400名が一同に集い、陸上競技を通して交流を深めました。様々な行事が中止になる中、開催できたこと、本当にうれしく思います。大会の時間の短縮や競技種目の制限など、開催に向けて協議を重ね、ご尽力いただいた関係者の皆さんに感謝いたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、なかなか練習ができなかったことに加え、北っ子まつりあり、授業参観あり、持久走記録会ありと6年生にとってはなかなか忙しい日程の中での開催となりましたが、それぞれに精一杯がんばっていました。素晴らしい環境の下、大会に参加できたことは6年生にとって大きな喜びとなったはずです。



また、大会に向けて6年生の昇降口前には応援するメッセージが掲げられました。全校生みんなで応援するんだという気持ちが見られとってもうれしかったです。6年生の皆さんお疲れ様でした。



子どもの自主的・自立的な活動を推進する ～これからの社会を生き抜くために～

子どもたちがこれから生きていく社会は、デジタル化が進み、多くの仕事が人間の手を離れていくことが容易に予想されます。その中で、生き抜くためには「自分で」気づき、考え、行動する力が必要になると考えます。学校においても同様で、これからの社会を見据え、子どもたちの自主的・自立的な活動をどんどん推進したいと考えています。子どもたちが自分たちでやりたいと思ったことを自分たちの力で実現させていくことに力を注いでいきます。これまで学校だよりで紹介してきた「あいさつの助っ人」「挑戦状の委員会」などはまさにその活動の一つです。

先日も2年生が職員玄関であいさつ運動をしていました。「あいさつすると気持ちがいいので・・・」「学校全体が元気になればいいなと思って・・・」と理由を話してくれました。後日「『あいさつ隊』という名前にしました」と報告にも来てくれました。どこまでできるかな、大丈夫かな、教師として子どもたちの活動に心配はつきませんが、とにかく子どもたちの力でやってみる自主的・自立的な活動を促進させたいと考えています。

